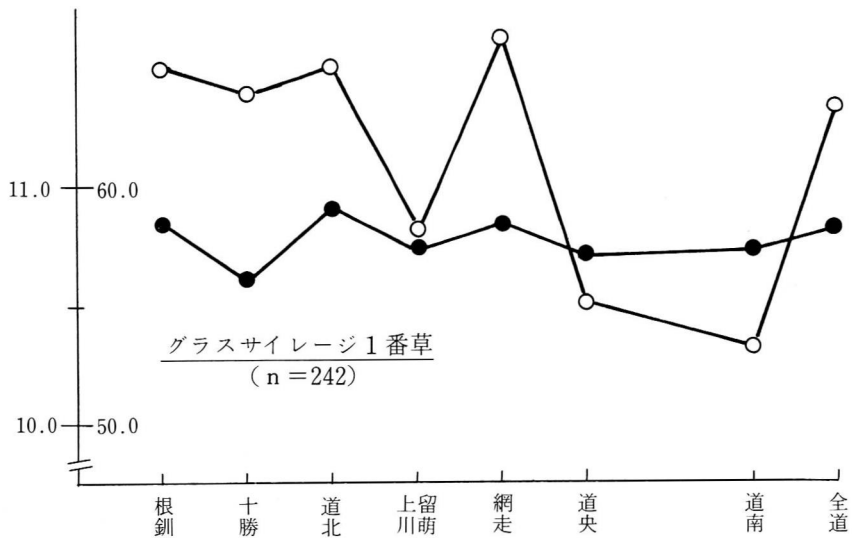
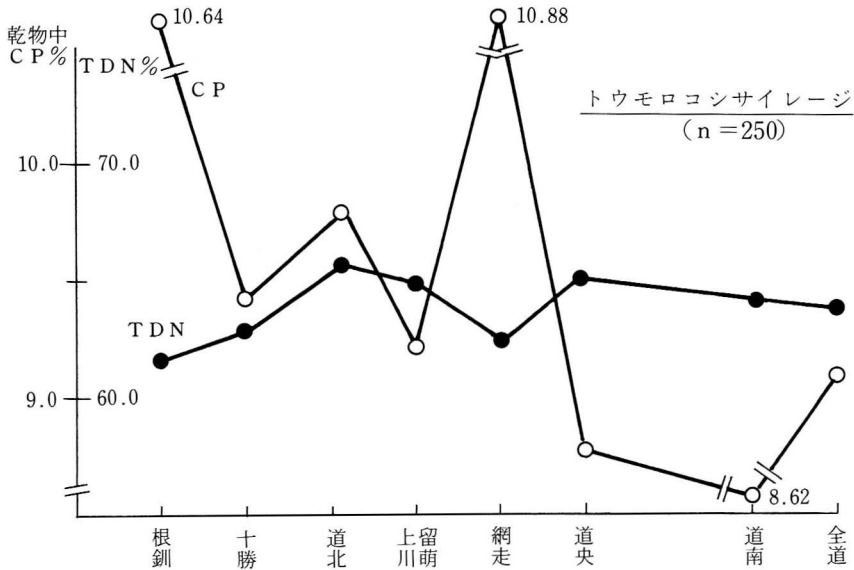


昭和58年産サイレージの分析結果（北海道）

雪印種苗（株）中央研究農場



トウモロコシサイレージでは、TDN は $64 \pm 2\%$ の範囲内ですが、蛋白含量は道東、道北地域で高くなっています。特に根釧、網走地区の蛋白含量が高く、熟期が進んでいなかった事が見受けられます。

グラスサイレージ1番草では、乾草同様、上川・留萌、道央、道南地区の蛋白含量が低く、地域格差が大きいものとなっています。これは、天候の影響もありますが、サンプルの大半は根釧、道北地区からであったことの影響も考えられます。

水分の全道平均は、トウモロコシサイレージで 76.81%、グラスサイレージ1番草で 64.12% でした。